

# 危険物新聞

第412号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会  
編集 松村 光 惟  
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7  
四つ橋ビル  
TEL (531) 9717・5910  
定価 1部 60円

63年度第1回危険物取扱者試験

6月12日、19日 府大で

消防試験研究センター大阪府支部では、昭和63年度第1回危険物取扱者試験を次の日程で実施する。

▷試験日 6月12日(日) 午前 乙種4類  
午後 甲種及び乙種1～6類

6月19日(日) 午前及び午後 丙種

▷試験場 大阪府立大学

▷願書受付 5月9日(月)、10日(火)

▷受付場所 大阪府職員会館

## 受験準備講習は5月11日から

受験準備講習会は、大阪、堺、茨木、豊中会場で別掲のとおり、甲種、乙種、丙種について行なわれる。

また、受講受付は、4月22日より5月6日まで各地へ出張して行なわれる。

なお、甲種及び4類以外の乙種の準備講習については、2回試験(10月中旬)に際しては行なわないので注意されたい。

62年度懸賞論文入選決まる

優良作品に辰己、野上両氏

大阪府危険物安全協会では「昭和62年度 危険物安全管理に関する論文」を募集していたが、府下各事業所から14点の応募があり、慎重に審査の結果、優良賞に辰己氏外1名、佳作に梅原氏外3名が入選した。

第1部(製造、取扱い部門)

〈優良賞〉

「全員で築く職場の安全」

辰己 治(藤沢薬品工業㈱大阪工場)

「塗料製造工場における安全管理」

野上 哲雄(日本油脂㈱三国工場)

〈佳作〉

「運転感受性活動の取組み」

梅原 正次(大阪ガス㈱西島製造所保安安全チーム)

「我社の危険物の管理と防災対策」

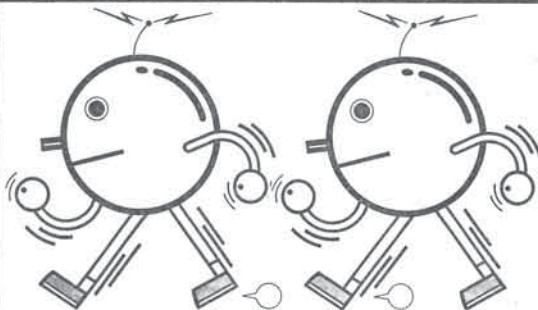
阿部 暁真(イーシー化学工業㈱)

「我々の工場の静電気対策について」

静電気対策委員会(東洋インキ製造㈱寝屋川工場)

「安全小集団活動を通じて」

尾崎 京一(大日本インキ化学工業㈱吹田工場)



# ハイテクテク。

常に防災の歴史とともに歩みつつ、さらに未来に向けてハイテク防災空間を拡げつつあるヤマト。防災のトータルプランナーとして、確実に前進をしています。

消火装置 消火器 警報装置 避難設備 各種防災機器

●防災のトータルプランナー

## YAMATO

ヤマト消火器株式会社

SINCE 1918

■本社 〒537 大阪市東成区深江北1-7-11 TEL. (06) 976-0701㈱

■東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL. (03) 446-7151㈱

## 62年度 第4回取扱者試験結果

甲種 46.4%、乙種 41.9%

消防試験センター大阪府支部では、2月21日に実施した昭和62年度第4回危険物取扱者試験結果を3月30日に発表した。

その結果は次のとおり。

	受験者数	合格者数	合格率
甲種	194	90	46.4%
乙種1類	30	24	80.0%
乙種2類	28	27	96.4%
乙種3類	30	23	76.7%
乙種4類	2,173	911	41.9%
乙種5類	14	12	85.7%
乙種6類	86	57	66.3%
丙種	1,059	694	65.5%

63年度保安講習は  
7月頃実施予定

大阪府昭和63年度危険物取扱者保安講習は、今年も7月頃から実施予定で現在会場の設定等計画が進められている。

63年度は、前年と同じように1コース3時間で、原則として午後1時又は1時30分開始の予定である。

受講料は、昨年の政令改正により1名4,000円となり、テキストは全危協発行の全国统一教本となるが、もちろん

受講料にはテキスト代も含まれている。

講習は、石油コンビナート関係(堺)、給油所関係、タンクローリー関係、化学工場に分けて、また前年度より数会場増設して実施する予定である。

なお、新しい申込書様式(往復ハガキ式)は近く各消防署等に配布される予定。

## 地下タンク等定期点検制度

## 初回講習 大阪で6月初旬

財団法人全国危険物安全協会では、消防庁のご指導で、地下タンク等の点検制度を実施するが、とりあえず、4月から東京を皮切りに、九州地区(久留米市)、中国地区(広島市)、四国地区(松山市)、近畿地区(東大阪市)、中部地区(名古屋市)、東北地区(仙台市)、北海道地区(札幌市)で初回講習を実施する。

近畿地区の講習は次のとおり。

- ▷講習場所 大阪市消防学校(東大阪市三島188、地下鉄長田駅下車北東へ約2キロ)
- ▷講習日 A組 5月31日、6月1日(定員50人)  
B組 6月2日、6月3日(定員50人)
- ▷講習時間 9時~17時
- ▷申込期間 5月2日~14
- ▷申込方法 郵送
- ▷申込先 財大阪府危険物安全協会
- ▷受講料 28,000円(受講料は受講受付後)

財大阪府危険物安全協会のFAXの番号が変わりました  
新FAX番号 06-531-1293

**空調設備機器製造・販売**

オイルタンク用液面計  
遠隔式警報ユニット液面計  
各種液体タンク用液面計  
フロートスイッチ・微圧スイッチ  
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全  
ローコストを追求する

**GIKEN**

TEL 06(358)9467(代表)



**株式会社技研**

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

## ＜懸賞論文 第1部（製造、取扱い部門）・優良賞＞

## 「全員で築く職場の安全」

藤沢薬品工業㈱大阪工場

辰 己 治

## 1. はじめに

私が勤務する大阪工場は、化学反応を主とする製薬、次いでアンプル等の注射製剤、更に、最終製品となる包装の医薬品一貫製造工場である。

私は、この3部門の中で特に危険物を日常的に多量取扱う製薬部門に所属している。

さて、大阪工場は最近まで連続170万時間加療無災害を達成した安全優良工場で、工場長を始めに、幹部の安全意識は相当高い。

例えば、生産要素のS(安全)・Q(品質)・D(納期)・C(原価)の話しでは、生産の基盤として必ず、安全最優先を強調され、私達一般従業員にもその思想は浸透している。

62年度の工場方針は

「心身の健康をベースに全員がそれぞれの役割を果たし安全で健康な働きがいのある職場風土を確立する。」

一人一人の人間性を尊重し、加えて全員が参画することを基本理念としている特色がある。

私は、製薬部門の安全活動リーダーとして工場方針に沿って、今年度の製薬部門重点活動を下記の如く定め、全員の参画と共感を得て災害「ゼロ」の達成に挑戦しようと決意した。

## 〔製薬部門重点活動目標〕

- 〔I〕 安全確認最優先運動
- 〔II〕 安全研修
- 〔III〕 健康管理

以下、その活動内容について記述する。

## 2. 安全活動の概要

## 〔I〕 安全確認最優先運動

私達の職場は、日常多数・多量の危険物を取扱い、且つ、製造技術の進歩と共に設備も複雑化し、一つ間違えば重大災害に結び付く危険性がある。

一方、過去の災害事例が示す通りその主要原因がヒューマ

ンエラーであった事実は明白で、人の意識の高・低が重要ウェイトを占める事を知っている。

一人一人が安全を常に意識するには、私は、「安全を確認するまで作業をしない」と言う考えを全員が持つこと」これを最重点課題と位置付けし、「見て、聞いて、言っ、やっ、の基本動作で全員参画のもとに運動を展開することにした。

## 〔I〕-①：「安全確認第一」ステッカー運動

私達の職場は作業時の保護具の一つとしてヘルメットを装着している。

まず、安全確認の第一歩として、部員全員のヘルメットに「安全確認第一」の文字入りイラストステッカーを貼り、作業開始の装着時には必ず見る、ことで全員の意識を高めることにした。

従来から行なわれて来た安全ポスターと同じ効果の他に、作業中、何時でも、何処でも全員が目につくことで、一人一人が安全意識を持続し、部員相互の注意喚起が出来るムード造りにも貢献した。

一方、この運動が見る、ことのみに焦点を置いた意識高揚策であるため、運動開始3ヶ月後には見なれたことで職場全体にマンネリ化の風潮が発生した。安全活動の難かしさを痛感し、次の活動を展開することにした。

## 〔I〕-②：S・O・M(Safety One point Message)運動

安全活動は全員の参画がなければ意味がない。加えて、それぞれ個性の異なる作業者が集団として働く中で、画一的な活動では全員の共感を得ることは出来ない。

そこで私は、一人一人が「安全作業」について日常考えていることを週1回、5分程度全員の前で発表する場を設けた。

これをS・O・M(Safety One point Message)運動と呼称することにした。

当初は、不慣れもあってポイントずれの話も種々見うけられたが、徐々に全員の参画意識も高まり、意欲的、建設的な発表内容に変化してきた。

安全活動を「やらされている」のではなく「やらねばな

らない」と全員が感じてきたのである。

発表された内容を、要約したポスターで掲示し、職場の週間強調目標とした。

「職場の安全は全員で築くぞ!!、という職場風土造りに成果があった。

発表内容は

- ① 保護具の取扱い方法。
- ② 設備改善の要望。
- ③ 作業方法の見直し。
- ④ 安全意識の向上。
- ⑤ 訓練、研修の要望。

等、多方面にわたり、「三人寄れば文珠の知恵、の如く、全員の力を結集すれば安全は保証される」と意を強くした。

発表の中で「指差呼称、の導入を提案する意見が出され

た。

これは、私が当初、最重点課題とした「安全を確認するまで作業をしない」という活動の取組みにも合致するので、次のステップとして「指差呼称、運動を展開することにした。

〔I〕-③：指差呼称の定着化

この運動が展開されてから、当工場も5年余を経過したが、残念ながら各部門に於いて完全定着とは言えない。我々の職場も例外でなく、指差呼称の意味すら知らない人もいた。

指差呼称運動の開始に当たり、その目的、効果についてビデオ研修で全員が理解できるように努めた。

導入当初は、恥かしい、カッコ悪い、と小さな声しか出さない人、又、指差はするが声が出ていないとか、更には全くしない人がいたり、中々定着出来ない状況で、導入初期の困難さを痛切に感じた。

定着の施策として

- (1) 大声の人を推進者とした発声練習。
- (2) 指差呼称のモデル箇所を選定した訓練。
- (3) 設備の重要ポイントを色別表示する。

等を実施した。

最近では、徐々にその気運は高まり定着まであと一步の段階で、現在は「声を出して確認ノ触れて確認ノバルブとスイッチ」をスローガンに焦点をバルブとスイッチに絞って実践している。

〔I〕-④：全員参加による職場安全総点検

「安全確認最優先運動」の一環として、「自分の身は自分で守る、基本的考えで、年2回工場の安全衛生週間に呼応して、自分達の眼で安全の観点から職場環境を見直した。

部員総数50余名を10班に編成し、総点検チェック項目は、整理・整頓・清潔の5Sの基本から、設備・機械・不害物・毒劇物等13項目で、点検シートを用いて不安全箇所、不安全な行動などをチェックした。



暮らしに安心と安全をお届けする

- 屋内外消火栓設備
- スプリンクラー設備
- ドレンチャー設備
- 泡消火設備
- ガス消火設備
- 粉末消火設備
- 自動火災報知設備
- 避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく  
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

株式会社 三和商会

本社 大阪市西区京町堀2丁目1番17号  
〒550 電話(06)443-2456(代)

平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号  
〒547 電話(06)707-3341



10日間を費した総点検で約200件近くの指摘事項を摘出した。これ等の問題点を自分達の手で改善することで、前述の「自分の身は自分で守る、基本的態度を全員が身に付けて、安全な職場の形成に邁進している。

### 〔Ⅱ〕安全研修

職場の安全確保には、人の意識を基盤として、働く私達が製造の知識・技能・技術を高めることも重要で、安全研修は手段の一つとして有効である。

今年度、先の「安全確認最優先運動」と併行して部門全体で実施している研修は下記の通りで、その内容を簡単に紹介する。

#### (1) 機械・電気研修

定期的に工務部員を指導者として機械・電気の基礎知識を始めとして、工作機械の取扱い実習、シーケンス制御のモデル実習等、幅広い研修を行っている。

研修終了者には認定証を発行し、工作機械・電気工具を使用した現場の設備保全を許可している。

#### (2) 試製時のセーフティ・アセスメント研修

開発品の試製時には、事前に入手した試製ノウハウに基づき、開発部門、工場の安全環境担当部門を混えて新規物質の物性、製造方法の安全性等、安全・衛生面のセーフティ・アセスメント（事前評価）を充分に行なった後、試製を開始している。

- (3) 部内ヒヤリ・ハット事例研修
- (4) 他社災害事例研修

安全知識の高揚を目的に、部内で発生したヒヤリ・ハットの報告書や他社の災害事例集を教材として活用している。ヒヤリ・ハット報告書は発生状況を4コママンガで記述する様式にして全員が理解し易い工夫をしている。

### 〔Ⅲ〕健康管理

安全な作業を行なうには、心身の健康が不可欠なことは多言を要しない。

スポーツ、レクリエーションを通して全員が気持一つにした快適な職場造りを目指し、安全活動に「遊びの心、

## 危険物設備の設計・施工 保安点検・検査

### 設備の安全を創造する

## ①新栄プラント建設株式会社

本社 大阪市南区南船場2丁目7番14号  
〒542 (大阪写真会館)  
電話 大阪(06) 271-5588(代)

を取り入れることにした。

今年度は、春に野球大会、秋にはボーリング大会を開催した。それぞれ、大会での活躍者には、上司の協力を得て賞品を手わたし、気運の盛り上げを図った。

更に、各人の健康管理の手助けとして、工場全体で実施した体力測定に部員が参加出来る機会を作った。

部員の大多数が参加した体力測定は、各人のウィークポイントを的確に示し、一人一人が健康管理の必要性を再認識する絶好の場となった。

### 3. 終りに

この一年近くに亘って取り組んで来た安全活動は、他社の進んだそれに比べまだまだ未熟かもしれない。しかし、年間を通して、「手を替え、品を替え」と展開したこの活動が部門の連続6年ゼロ災害に果たした役割は、大であったと自負している。

「0 災への挑戦、この言葉は、私達製造部門で働く者にとって永遠の課題である。又、安全活動も間断のない活動でなければならない。

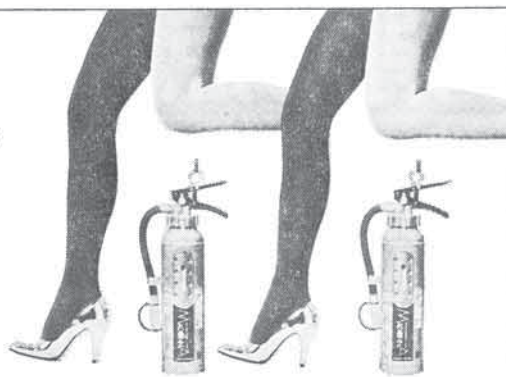
私は、今後もこの度の貴重な経験を礎として、「全員で築く職場の安全、をモットーに精力的に安全活動を推進していく決意である。 —以上—

安全が見える窓つき またひとつ超えました。

安心小窓がついた  
MADONNA  
火災御見舞金(最高20万円まで)つき

鹿田ポンプ株式会社

本社/〒544 大阪市生野区小路東5-5-20 Tel(06)751-1351(代)  
営業所/東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・高崎  
静岡・富山・広島・松山・札幌・旭川



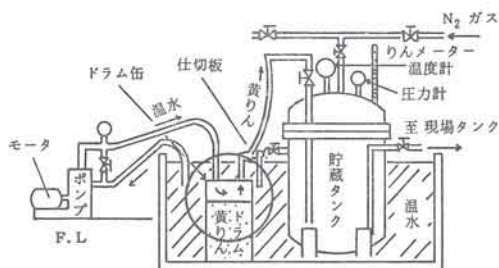
◆ 危険物施設の事故例 ◆

黄リンの流出により火災

昭和62年6月、大阪府下の一般取扱所において、黄リンをドラム缶から貯蔵タンクへ移し替える際に流出し火災に至ったもの。

〔事故の概要〕

りん化銅製造工場において、8時30分頃、ドラム缶に入った固体状の黄リン(330kg入り)を融解させながら貯蔵タンクへ移し替えるため、ドラム缶を温水ピットに入れ、黄リン押出口と貯蔵タンクを耐酸ホースで接続後、約60℃の温水をドラム缶に1kg/cm<sup>2</sup>の圧力で圧入していたが、従業員はこの間、他の作業のため、この現場を離れていた。9時32分頃、ドラム缶の黄リン押出口に接続していたホースが水圧により抜けたため、黄リンを含有した温水が吹き出て貯蔵タンクとドラム缶の仕切板に当り、周辺に飛散、自然発火し、火災に至ったものである。



温水ピット側面図

〔問題点及び対策〕

- ① 黄りんドラム缶と耐酸ホースの結合部にホースバンドの取付け励行。
- ② 温水圧入用ポンプの緊急停止用遠隔操作スイッチを設置すること。
- ③ 黄りん貯蔵タンクの上方とその周囲に散水設備を設置すること。
- ④ 移し替え操作中は、常時監視を怠らないこと。
- ⑤ その他

参 考

黄りんの性質

- ① 自然発火温度 30℃ (水蒸気飽和空気中)
- ② 融 点 44.1℃
- ③ 熱焼によってきわめて有毒な五酸化リン蒸気を発生する。

(全国危険物安全協会連合会提供)

危険物取扱者免状と消防設備士免状の取扱い窓口が変わりました。

昭和63年4月1日から免状の申請(受取り)の窓口が、次のようになりました。

現在、免状を持っている方が、氏名や本籍を変更した場合、免状を紛失や破損した場合、または、新たに試験に合格した方の窓口は(財)消防試験研究センター大阪府支部となりました。詳細は、下記へお問い合わせ下さい。

(財)消防試験研究センター大阪府支部  
 〒540 大阪市東区谷町2丁目37番地  
 NSビル9階  
 電話 06-941-8430

消防点検は…マルナカ



マルナカは、社会に「安心」を提供する防災のプロフェッショナルです。

大阪本社 〒530 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 TEL (06)371-7775(代)  
 東京本社 〒113 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 TEL (03)944-0161(代)  
 神戸マルナカ 〒653 神戸市長田区東尻池町3丁目4番19号 TEL(078)681-5771(代)

# 大阪市予防部長に十河將博氏

## 〈消防関係人事異動〉

### 大阪市消防局

〔部長級〕▷人事教養課長 安澤陽(環境保健局庶務課長)▷予防部長 十河將博(西署長)▷警防部長 恒遠滋(予防部長)▷司令課長 小川徳一(北署長)▷消防学校長 西山洋(東成署長)▷北署長 岡積勝雄(消防学校長)▷東署長 新堂衛(市民生活局相談部安全対策課長)▷西署長 辰己義雄(西成署長)▷西成署長 黒川一夫(大正署長)▷市部局 松宮善之(人事教養課長)

〔課長級〕▷企画主幹 山本昌三(都市整備局指導助成課長代理)▷予防課長 沖浦吉彦(予防査察課長)▷査察課長 川畑雅一(設備課長)▷救急救助課長 西尾昌彦(救急課長)▷都島署長 井上一雄(救急課長代理)▷港署長 中本博(東副署長)▷大正署長 櫻田正昭(都島署長)▷西淀川署長 河村武(人事教養課長代理)▷東淀川署長 松尾武夫(司令課長)▷東成署長 廣岡貞好(天王寺副署長)▷生野署長 秋田正己(東淀川署長)▷城東署長 村井博(総務課長代理)▷大阪狭山市総務部参事 浅香忠美(淀川副署長)▷市部局 山口隆生(生野署長)

〔退職〕▷太田信(総務部主幹)▷今西俊之(警防部長)▷八幡定年(東署長)▷扇敏幸(港署長)▷野邊勝(西淀川署長)▷山岸央(城東署長)

### 堺市高石市消防本部

## 堺・高石消防長に谷義夫氏

▷消防長 谷義夫(次長)▷総務部長 田中正治(予防部長)▷警防部長 総谷幸夫(堺署長)▷予防部長 長谷川三郎(警防部長)▷指導査察課長 伊熊正信(高石署長)▷堺署長 吉村良人(警備課長)▷高石署長 植木章(救急防災課長)▷警備課長 長辻正明(指導査察課長)▷危険物課長代理 早川歩(金岡予防課長)

〔退職〕 中森正和(消防長)

### 枚方市寝屋川市消防本部

▷総務部長 箕浦修輔(枚方署長)▷枚方署長 奥井茂(指令室長)▷警防部参事 田中富雄(枚方東署次長)▷枚方東署次長 熊本靖夫(警防部次長)▷予防課長 渡会広(寝屋川署消防課長)▷総務課長 内田純行(総務課長代理)

### 東大阪市消防局

▷消防局長事務取扱(市助役) 秀平勇造  
〔退職〕 西村和(消防局長)

### 八尾市消防本部

▷消防長 川西博(消防署長)▷予防課長 福井稔(予防課長補佐)

### 松原市消防本部

▷次長 滝野正秀(清掃工場建設事務所長)

### 大阪狭山市消防本部

▷消防長 浅香忠美(大阪市)  
〔退職〕 寺本利信(消防長)

### 忠岡町消防本部

▷消防長 藤田繁(次長)▷次長 永原輝雄(総務課長)  
〔退職〕 玉野實(消防長)

### 熊取町消防本部

▷消防長 澤久(町役場総務部長)  
〔退職〕 畑中一夫(消防長)

### 岸和田市消防本部

▷予防課長 山中邦昌(警備課長)▷警備課長 永橋英志(予防課長)

### 茨木市消防本部

▷予防課長代理 武田忠義(警防課長代理)▷山手台分署長 河井亨(予防課長代理)


### 貝塚市消防本部

▷予防課長 河瀬周治郎(課長補佐)  
〔退職〕 増田守彦(予防課長)

### 泉佐野市消防本部


▷予防課長 西口成浩(警備課長)▷警備課長 賀本俊勝(予防課長)

●消火器



シームレス  
●中性強化液消火器

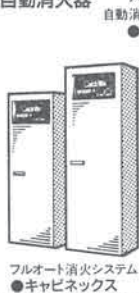
●家庭用防災用品



天井・油  
火災警報器  
●てきおんくん


台所用簡易  
自動消火装置  
●キッチン  
エース

●自動消火器



パッケージ型  
自動消火システム  
●アマムレイ

フルオート消火システム  
●キャビネットス



# 防災商品

## ア・ラ・カル・ト

—ご家庭から産業界まで幅広く活躍—

消火器・消火装置の総合メーカー

### 株式会社 初田製作所

本社工場/大阪府枚方市相提田近3-5 〒573 TEL (0720) 56-1281(代)

大阪支社  
〒555 大阪市西淀川区千舟1丁目5番47号 ☎(06) 473-4870

# 危険物取扱者養成講習ご案内

昭和63年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

## 1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	5月20日(金)、5月23日(月) 5月25日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種第4類	1期	5月17日(火)、5月26日(木)	大阪府商工会館
	2期	5月18日(水)、5月27日(金)	大阪府商工会館
	3期	5月24日(火)、5月25日(水)	堺市立勤労会館 (高野線堺東駅ヨリ13分) (阪堺線宿院駅ヨリ6分)
	4期	5月11日(水)、5月12日(木)	茨木市商工会館 (茨木駅ヨリ約13分)
	5期	5月19日(木)、5月26日(木)	豊中市市民会館 (阪急曽根駅ヨリ3分)
	夜間コース	5月20日(金)、5月23日(月) 5月27日(金)、6月1日(水) 6月3日(金)	18時～20時30分
休日コース	5月15日(日)、5月22日(日) 5月29日(日)	10時～16時	大阪府立労働センター (地下鉄天満橋駅西へ約5分)
丙種	6月2日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館

## 2. 受付期間と場所

受付場所	日 時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分) 豊中防火安全協会	4月25日(月) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 茨木市災害予防協会	4月25日(月) 午後2:00～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅北へ6分) 東大阪市西防火協力会	4月26日(火) 午前10:00～11:30
(地下鉄・守口駅前) 守口消防署	4月26日(火) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 岸和田市火災予防協会	4月27日(水) 午前10:00～11:30
堺市消防署内 (阪堺線・大小路駅前) 堺防災協会	4月27日(水) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号) ㈱大阪府危険物安全協会	4月22日(金) 午後1:00～4:00 又は 5月6日(金) 午後1:00～4:00

## 3. 夜間コース、休日コースの申込方法

夜間(定員60名)、休日(定員100名)コースは電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

## 4. 受講会費 (会費には、各テキスト代を含みます) テキスト不要の場合は甲種は3,000円、乙種は2,000円減額。

種別	会 員	会 員 外	備 考
甲種	13,000円	16,000円	
乙種	9,000円	11,000円	
乙種(夜)	11,000円	13,000円	
日曜コース	14,000円	16,000円	もぎテスト実施
丙種	4,000円	5,000円	

註 乙種1.2.3.5.6類受講者は、2種類以上の場合、各2000円増。また、科目免除者はテキストなしで、1種類につき1000円。